

日本マス・コミュニケーション学会

第 38 期第 3 回理事会 議事録

日時：2021 年 7 月 24 日（土）14：00～16：30

場所：Zoom によるオンライン開催

出席予定者（24 名）：理事＝飯田、井川、石田（佐）、伊藤（守）、烏谷、河崎、税所、澤、高木、田中、谷本、辻、津田、土屋、丹羽、黄、本間、毛利、山腰、山田、渡邊 / 監事＝石田（あ）、辻 / 部会長＝伊藤（昌）

欠席予定者（2 名）：理事＝金平、難波

事務局出席予定者（2 名）：菘、日高

1. 報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

- ・ 第 38 期事務局体制、メーリングリストの運営方針、会計業務の基本方針について報告された。

2) 委員会報告

①研究活動委員会

- ・ 研究部会編成の見直しについて報告された。

②編集委員会

- ・ 松尾理也会員（大阪芸術大学短期大学部）より、『マス・コミュニケーション研究』94 号（2019 年 1 月）に掲載された「昭和戦前期 “二流紙” の日本主義化プロセス——『大阪時事新報』を例に」について、7 月発刊予定の単著『大阪時事新報の研究——「関西ジャーナリズム」と福澤精神』（創元社）の一部として掲載したいとの申請があり、まだ編集委員会が組織されていないことから、担当理事 3 名で審議の上、承認したことが報告された。

⑤国際委員会

- ・ 6 月以降の活動について報告された。

2. 審議事項

1. 第 38 期第 2 回理事会議事録（案）について（総務担当）

- ・ 議事録案について承認された。

2. 学会名称変更の会員投票について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、学会名称変更案および規約改正案に対する会員投票の方法、投票期間、集計方法について報告され、投票期間をのぞいては、原案どおり承認された。
- ・ 投票数（投票率）を担保するために、投票期間を可能な限り延長するべきという意見が出た。議論の結果、8月14日まで延長することが承認された。また、メールマガジンを通して会員に積極的な投票を呼びかけることが提案された。
- ・ 投票結果については次回理事会（8月21日）で確認の上、8月中に公開することが承認された。ただし、学会名称変更および規約改正の発効日については、2022年1月1日とすることが提案された。

3. 第 38 期各種委員会委員・部会幹事候補について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、第 38 期各種委員会委員・部会幹事候補への打診、会員名簿の情報の確認について依頼があり、委員会・研究部会の構成を次回の理事会で確定することとなった。
- ・ 企画委員会の委員（研究活動委員会担当理事）を名簿に追加することが確認された。

4. 各部会／委員会内規の改正について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、各部会、委員会内規の改正が提案され、原案どおり承認された。

5. 70 周年記念シンポジウムの開催について（企画委員会、国際委員会、研究活動委員会、執行部）

- ・ 総務担当理事より、2021 年秋期大会 70 周年シンポジウムの実施体制が提案され、原案どおり承認された。具体的な内容については今後、国際委員会を中心に議論していくことが承認された。

6. 国会図書館インターネット資料収集保存事業の対応について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、国会図書館から打診があったインターネット資料収集保存事業について報告され、この事業に参加することが承認された。

7. 2021 年度の理事会日程について（総務担当）

- ・ 総務担当理事より、2021 年度の理事会日程案について提案され、原案どおり承認された。

今後の理事会日程

- 第4回 2021年8月21日(土) 10:00-12:30 (オンライン開催)
- 第5回 2021年11月7日(日) 10:00-12:30 (オンライン開催) ※秋季大会の翌日
- 第6回 2022年1月8日(土) 10:00-12:30 (オンライン開催)
- 第7回 2022年3月5日(土) 10:00-12:30 (オンライン開催)
- 第8回 ※春季大会の当日(対面開催)

8. 会員の入退会について

- ・ 会員の入退会について承認された。

以上